
恋姫?欲王†無双 OOO/StS Unofficial History

ブルちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋姫？欲王＋無双 O O O / S t S U n o f f i c i a l H
i s o r y

【Nコード】

N 9 3 7 8 X

【作者名】

ブルちゃん

【あらすじ】

戦いを終え、落ち着きを取り戻しつつある世界で新たな夢と共に旅に出た火野 映司。そんな彼が目覚めた場所は見知らぬ荒野だった・・・

新たな世界で出会う無双の姫と失われたはずの『力』・・・
世界に危機が訪れるとき映司は再び『王』となる！！

「変身！」

<タカ！><トラ！><バッタ！>

<タ・ト・バ！タトバ！タ・ト・バ！！>

いま、新たなる外史の扉が開かれる！！

この小説は作者の『魔法少女リリカルなのはOOO/Strikers』の後日談的なお話です。そういうのはだめ！という人は
回れ右をお勧めします。

第零席 旅人、外史の地に立つのこと（前書き）

勢いで描いた・・・後悔は・・・どうだろう？

基本的にリリなのOOO/StSの進行具合に沿って描いていきます。

とりあえず・・・どうぞ！

第零席 旅人、外史の地に立つること

大きな戦いがあった……

世界を揺るがし歴史に記されるほどの戦いが……

その中心となったのはとある二人

欲なき旅人と欲深き異形……相容れぬはずの二人

そんな奇妙な絆で繋がった二人の元に集った『魔法』を携える戦士達

欲望と狂気の果て世界を飲み込んだとした者達との戦い

その戦いに辛くも勝利した戦士達

その果てに待っていた旅人と異形の別離^{わかれ}

夢を失くした旅人はそれを取り戻し^{よくほつ}

命を求めた異形はそれを手に入れ満たされて散った^{よくほつ}

残された者達は新たな道を歩みだし、旅人もまた新たな夢と共に旅立った

明日のパンツと僅かな金銭。そして、異形^{とも}のいた証だけを持って

そんな世界には『伝説』が生まれた

- 世界に危機が訪れ、人が絶望に沈むとき『彼ら』は現れる -

『仮面ライダー』

戦いを乗り越えた世界は伝説を刻み新たな未来へ進みだした

これは『物語』

多くの想いから紡がれた『物語』から生まれる新たな『歴史』

男は目を覚ました。

男の名は『火野 映司』旅人である。

「・・・ふあああ・・・んううー！！・・・はあ、よく寝た・
」

映司は大きく伸びをして体を起こし立ち上がる。

エスニック調の服に付いた砂を軽く落とすと空を仰ぎ

「さて、次の街まで結構あるしそろそろ出発しないと．．．ん？」

再び視線を前に戻したときようやく違和感に気づく。

「．．．．あれ？．．．俺．．．昨日川辺で野宿してたよな．．．」

昨日は川辺の近くで日が暮れたのでそこで一晩過ごしたのだが．．．
周りを見渡すとそこは遠くまで広がり遠くに高い山を望む荒野のど
真ん中だった。

「．．え？．．なんで．．．え？．．」

混乱して慌てだす映司。そこへ、

「おい！そこのお前！」

「え？」

唐突に声を掛けられ振り向くとそこには男が三人立っていた。

一人は妙に背が低い男。

一人は巨漢の太った男。

一人はリーダー格らしいアニキとした男。

名を．．

上からチビ・デク・アニキという。

「「「おい！#」」」

いきなり叫びだすとは少々かわいそうな人のようだ（馬）

「おい！（馬）ってなんだ！馬鹿か？馬鹿っていいたいのか！？」

「……あの……どうしたんですか急に……」

映司は気の毒そうに話しかける。まあ当然であるが……。

「……くっそ！好き勝手いいやがって……まあいい。とにかく！おまえだ、お前！」

気を取り直し、そう言って手にしていた剣を映司に向ける。それを見た映司は驚いていた。

「（！！……質量兵器！？……ここ……管理世界じゃないのか！？）……あの……なんですか？」

映司の様子を怯えていると思った男たちニヤリと笑って続ける。

「『なんですか？』じゃねーよ。状況見たら分かるだろ？金目のモン出せってことだよ」

「んっなこともわかんねーのか？」

「……ば……馬鹿なんだな……」

「えーと……（なんでこんなとこに来たのかわからないけど……事を荒立てない方がいいな）……あの、金目の物って言われても……んつと……こんなんじゃないんですけど……」

映司はそう言つとズボンのポケットから布のようなものを取り出す。

「あん？なんだこれ・・・」

それをひつたくつたアニキが広げてみるとそこにはパンツに包まれた小銭があつた。

「「「・・・」」」

黙り込む三人を見て少しだけ距離をとる映司。そして、

「てめえ・・・なめてんのか？・・・汚ねーてめえのパンツにこんなガラクタ渡すたぁいい度胸じゃねーか・・・#」

「いや・・・そういうわけじゃ・・・（たぶん通貨そのものが違うと思つたけどやっぱりか・・・）とにかくおちつきましよう？ね！・・・争いは悲劇しか生みませんって！」

そう言つて殺気立つ三人を宥めるように話しながら少しづつ距離をとっていた。

すると、アニキが肩の力を抜いて溜息をつく。

「・・・はぁ・・・そうだな・・・こんな問答したところで時間の無駄だな・・・」

「・・・じゃあー！」

「ああ・・・おい、お前ら・・・殺して身ぐるみ剥いじまえ」

「！？」

「へい!!」

アニキの言葉にチビとデクは、映司を囲んで刃物を向ける。

「あつ・服には汚すなよ。見たことない服だから高く売れそうだ」

まるで明日の天気でも話すように話すアニキを見て、

「・・・なんで・・・」

「ん？」

「なんでそんな簡単に人を『殺す』なんて言えるんだよ!おかしいだろ!」

いきなり激昂する映司に少し戸惑うがすぐに薄ら笑いを浮かべて話し出す。

「けっ!この甘チャンが・この世はなつえー奴が正しいんだよ!おい!このうるせーばかを黙らせる!」

アニキがそう言うと、チビとデクは一斉に襲い掛かった。それに背を向けアジトに戻ろうとする兄貴。

「・・・たくよ・・・旅人ならすこしは持つてるかと思ったのによ・大外れじゃねーか・・・ん?」

ブツブツ言っているうちに後ろの騒ぐ声が静かになったのに気づいて振り向き、

「とつとと剥いで帰るぞ・・・今日は日がわる・・・は？」

そう言いかけて言葉を切った・・・なぜなら、そこには・・・

「そつちがそういう気なら、こつちもそれなりに対応するよ・・・
なにより、あんた達みたいなの放って置くわけにもいかないしね」

そつという映司と蹲って地面に倒れている手下二人がいた。

「・・・な!？」

予想外の事態にうろたえ剣を構えるアニキ。

それを冷めた目で見ながら歩み寄る映司。

それを見たアニキはやけくそ気味に叫ぶ。

「・・・くつそおお!!ここまで来て役人なんか捕まってたまるか
よおお!!」

剣を振り回し襲いかかろうとし、映司は身構えた・・・そのとき!

「そこまでだ!!!」

「「!？」」

声と共に二人の間に割ってはいる影があった。

その人物のいきなりの登場に驚き距離をとる二人。

白くくたびれた外套を頭から羽織り、身の丈ほどのある竜に意匠が
特徴的な長刀・・・青龍偃月刀を持つ乱入者はアニキに向き直ると、

「貴様は、このあたりを荒らしまわっている盗賊だな？」

「・・・だ・・・だったらなんだってんだ・・・どいつもこいつも邪魔しやがって・・・つか、てめえ！一体何モンだ！」

狼狽しながら剣を向けるアニキ。

それを見た乱入者は纏った外套を取り払った。

「！！・・・こいつまさか！？・・・黒髪 of 山賊狩り！！」

驚きの声を上げるアニキ。

そこには、零れ出し腰まで伸びた艶やかな黒髪をサイドテールに結い、細くしなやかな肢体からは想像もできない力で大きな青龍偃月刀を振り回し相手に向ける美少女。

端正に整った顔立ちに強い意志を秘めた凜とした瞳で相手を射抜くと高らかに名乗りを上げる。

「我が名は関羽！乱世に乗り、無辜の民草を苦しめる悪党よ・・・これまでの悪行を地獄で詫びたくば・・・かかってこい！！！」

その姿に映司はかつて共に戦った仲間達を思い出した・・・

こうして、再び『物語』は動き出す・・・

出会う筈のない者達の競演は果たしてこの物語をどのような終端に向かわせるのか・・・

『欲望の王』と『恋姫』その行く末は

いまは、まだわからない・・・

恋姫？欲王†無双 O O O / S t S U n o f f i c i a l

H i s o r y

第零席 旅人、外史の地に立つること

C o u n t T h e M e d a l s !

現在、映司の持つメダルは・・・

割れたタカX1

第零席 旅人、外史の地に立つのこと（後書き）

いかがだったでしょうか？

大戦後なので映司君のステータスが強化されています。（まああくまで一般人から見ればですが）

不定期ですが今後ともよろしく！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9378x/>

恋姫?欲王†無双 OOO/StS Unofficial Hisory

2011年11月15日03時03分発行